

1 地域別ジェネリックカルテの作成【継続】

◆地域別ジェネリックカルテとは

区市町村ごとの後発医薬品の使用割合について、レセプトデータをもとに、医療機関の状況（院内処方・院外処方）、薬局の状況（一般名処方を後発医薬品で調剤した使用割合）、患者の状況（患者の都合により後発医薬品を調剤しなかった割合）など、体系的に整理し、使用割合への影響度等分析を行えるようにしたもの。

保険者名 (※1)	ジェネリック医薬品 使用割合(全体) (※2、3、4、5)			【患者の視点】				【薬局の視点】				【医療機関の視点】																							
				被保険者ジェネリック 医薬品拒否割合 (※6、7)		公費対象者ジェネリック 医薬品使用割合 (※8)		調剤ジェネリック 医薬品使用割合 (※9)		一般名処方限定 調剤ジェネリック 医薬品使用割合 (※9)		院外処方率 (※10)		院内処方								院外処方													
				院内処方								院外処方								【参考】 院内処方率 (※11)				【参考】一般名処方率(※7、12)											
				院内処方ジェネリック医薬品使用割合				院外処方ジェネリック医薬品使用割合				入院				外来				病院				診療所											
標準得点 (※13)	指標 数値	東京都平均 との差	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値					
A	0.6	78.4	2.1	-1.3	21.0	-0.8	62.3	-1.5	74.7	-1.7	81.6	0.9	83.9	-1.0	61.1	0.4	83.1	-1.0	56.9	-1.3	58.3	0.9	16.1	-1.5	74.7	-1.4	74.5	-1.5	74.8	-1.3	48.7	-0.5	32.4	-1.6	51.5
B	0.9	79.4	3.1	1.9	10.3	-0.5	63.7	0.4	80.4	1.4	90.2	0.8	83.2	1.8	74.5	-0.2	81.6	0.1	64.9	2.2	75.9	0.8	16.8	0.4	80.4	-0.8	76.1	0.8	81.8	-0.7	50.8	-1.1	28.7	-0.6	55.2
C	1.9	83.1	6.8	1.8	10.5	2.0	73.6	2.0	85.2	1.8	91.2	0.7	83.0	1.3	72.4	1.4	86.1	1.1	72.0	1.1	70.2	0.7	17.0	2.0	85.2	2.6	85.8	1.7	84.9	0.7	56.3	-0.7	31.5	1.2	61.7
D	0.1	76.6	0.3	-1.2	20.8	0.5	67.4	0.4	80.3	-0.1	85.9	-3.0	57.7	1.1	71.5	0.2	82.6	0.9	70.6	1.2	71.0	-3.0	42.3	0.4	80.3	0.8	80.8	0.2	80.0	1.9	60.8	2.9	57.3	1.4	62.5

◆使用データ

区市町村国民健康保険（以下「区市町村国保」という）及び後期高齢者医療広域連合の医科、DPC、調剤レセプト

◆データの提供状況

毎月sucoyacaシステムにより、区市町村国保及び後期高齢者医療広域連合へ提供

◆主な活用方法

- 各保険者は、地域の使用割合の状況を把握し、医師会、薬剤師会等と情報共有するなど地域の関係機関と連携した取組を推進
- 都は、定期的に地域ごとの使用割合の変化や区市町村の取組を把握・共有し、各保険者が地域の関係機関と連携した取組を推進できるよう支援

◆区市町村国保での活用状況

- 普及啓発の参考、薬剤師会への情報提供に使用、運営協議会の資料 等

2 医療関係者向け講演会の開催【継続】

◆概要

後発医薬品の安心使用促進に向け、医療関係者の理解促進を図るため、動画配信形式で医療関係者向けに講演会を実施

◆講演会名

東京都後発医薬品安心使用促進に係る医療関係者向け講演会

◆対象者

都内の医師、歯科医師、薬剤師及び医療保険者等

◆動画配信期間

令和5年1月27日（金）から3月3日（金）まで

◆講演内容

○後発医薬品の基礎知識について

「後発医薬品の基礎知識を再確認しよう
-規制、品質、ビジネス、海外の状況など-」

東京大学大学院薬学系研究科 准教授 小野 俊介氏

○地域における取組について

「後発医薬品安心使用促進の取り組みと課題-病院薬剤師の視点-」

一般社団法人東京都病院薬剤師会 理事 金内 幸子 氏

○業界団体の取組について

「「ジェネリック医薬品に対する信頼の回復」に向けた日本ジェネリック製薬協会の取り組みについて」

日本ジェネリック製薬協会広報委員会 委員長 田中 俊幸 氏

◆申込者数 270名

◆視聴者数 184名

オンライン講演会 / 受講料無料

東京都福祉保健局

令和4年度

後発医薬品安心使用促進に係る医療関係者向け講演会

動画配信期間 令和5年1月27日(金)10:00～3月3日(金)17:00

東京都では、令和元年度に東京都後発医薬品安心使用促進協議会を設置し、都民が安心して後発医薬品を使用できる環境整備に向けた取組を進めています。この度、医療関係者が後発医薬品の安心使用促進に向け連携して取り組む際の一助となるよう、以下の通り講演会を開催いたします。是非お申し込みください。



講演内容

後発医薬品の基礎知識を再確認しよう -規制、品質、ビジネス、海外の状況など-	東京大学大学院薬学系研究科 准教授 小野 俊介氏
後発医薬品安心使用促進の取り組みと課題 -病院薬剤師の視点-	一般社団法人東京都病院薬剤師会 理事 金内 幸子氏
「ジェネリック医薬品に対する信頼の回復」に向けた 日本ジェネリック製薬協会の取り組みについて	日本ジェネリック製薬協会 広報委員会 委員長 田中 俊幸氏

申込について

対象者 都内の医師、歯科医師、薬剤師及び医療保険者等

申込期限 令和5年1月13日(金) 17:00まで

申込方法 専用サイトよりお申し込みください。
▶ <https://www.j-report.jp/generic/>

※専用サイトに接続できない等、お困りのことがございましたら
メール: generic@j-report.jp までお問い合わせください。



問い合わせ

後発医薬品安心使用促進に係る医療関係者向け講演会運営事務局 (株式会社Jリポート)

メール
▶ 事前登録・講演試験について等は…
generic@j-report.jp

事前質問は、上記専用サイトで令和4年12月14日(水)まで受け付けています。
※全ての質問には回答できないことがあります。あらかじめご了承ください。

3 普及啓発リーフレットのホームページ掲載【継続】

○ 東京都ホームページに以下のリーフレットデータ（PDF）を掲載し、保険者等がホームページやSNSで活用可能なものとしている。

①後期高齢者向けリーフレット【令和2年度作成】

ポイント 1 安心
皆さんが長年飲んできた薬について先発医薬品の特許終了後に、品質・有効性・安全性が同等であるものとして、国が認めたお薬です。

ポイント 2 飲みやすくなった薬も
ジェネリック医薬品は、小型化・形状等の変更、味の改良など製剤工夫がなされているものもあります。

ポイント 3 低価格
ジェネリック医薬品に切り替えると、お薬代の負担が軽くなります。

①後期高齢者向けリーフレット



②子育て世代向けリーフレット



②子育て世代向けリーフレット【令和3年度作成】

東京都

子供の薬をジェネリックに変更するのはなんとなく心配。子供も安心して飲めるの？

メーカーをはじめ薬局や病院では、患者さんに安心して服用していただくために日々取り組んでいます。

- 国の承認後(注)も安全を確保するため、先発医薬品と同様に、国や都道府県がメーカーに立入検査等を実施しています。
- 医療機関や薬局では、おくすりを採用する時に情報を確認するとともに、その後も定期的な情報収集に努めています。

(注)ジェネリック医薬品とは、長い間使用された実績がある先発医薬品の特許期間終了後に、品質・有効性・安全性が先発医薬品と同等であるものとして、国(厚生労働省)が法律により認めたおくすりです。

本協議会の意見を踏まえて取組の充実を図った事項

第1回東京都後発医薬品安心使用促進協議会（令和4年8月30日開催）でいただいた御意見

- (1) 東京都には子育てひろばが約1,000か所あり、毎年、都が子育てひろばのスタッフ向けの研修を約10回設定している。そのうちのいずれかの回で、リーフレットの説明をしてはどうか。
- (2) 先発医薬品に対して「この後発医薬品の商品名は〇〇である」などのことが、どこかで把握できるのか。

取組の充実を図った事項

(1) 子育てひろば職員研修における子育て世代向け啓発リーフレットの周知

以下研修会の冒頭に、子育てひろば職員に対して後発医薬品の使用促進について説明

【日時】令和5年3月6日（月曜日）13時から16時まで

【講師】NPO法人せたがや子育てネット代表理事 松田妙子 氏

【テーマ】利用者同士の交流と地域のつながりを促進するために

(2) 令和3年度に作成した子育て世代向け啓発リーフレットの追加配布

- 令和4年度に配布を希望した区市町村15か所に配布

(3) 東京都ホームページ※に、関連情報として以下のページへのリンクを掲載

- 「一般財団法人日本医薬情報センター」
- 「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報（厚生労働省HP）」

※都ホームページ



関連情報

④ 保険者別の後発医薬品の使用割合（厚生労働省HP）

厚生労働省では毎年度2回、保険者別の後発医薬品の使用割合（数量シェア）をとりまとめ、公表しています（平成30年9月診療分から）。

④ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進について（厚生労働省HP）

④ 薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報（厚生労働省HP）

現在、医療機関等で保険診療に用いられる医療用医薬品として官報に告示されている（薬価基準に収載されている）品目の内容等をお示ししたものです。

④ くすり相談窓口（独立行政法人医薬品医療機器総合機構HP）

④ 一般財団法人日本医薬情報センター

医療用医薬品の医薬品名（商品名）からその製造・販売または発売会社のホームページの参照、JAPIC提供の医薬文献データベース「iyakuSearch」の検索・結果参照、添付文書PDFの参照ができるリンク集です。検索は商品名と会社名からできます。（※）

（※）左側の「医薬品情報ナビ」をクリックしてください。

④ 東京都子ども医療ガイド（東京都福祉保健局）

子供の病気や発熱・怪我、子育ての情報